

熊本高専の教育モデル

ナンバーワンを目指す熊本高専の構築に向けて

熊本高専 副校長

下田貞幸



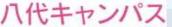


熊本城

八代妙見祭(ユネスコ無形文化遺産)

熊本高専の概要









熊本高専の学科構成(6学科2専攻)



音響信号処理の実験



電気自動車の自動運転に関する研究



情報工学実験の将業即得



融合·複合3学科+1専攻



学生数:本科1,282名, 専攻科137名(2017年度)



ものづくり実習(レーザ加工機)



労災病院ホスピタルギャラリー(地域ワークショップにより実現した作品



生物系の実験風景



これまでの取り組み

地域連携の例(地域イノベーションセンター)

- 新・閃きイノベーション
- 連携プロジェクト:い草水耕栽培・早期育成技術開発
 - :土木建築分野先端空間情報利用
- 地域温泉街再生

情報リテラシー、情報セキュリティの例(ICT活用学習支援センター)

- サイバーセキュリティ・トレーニング
- 熊本高専生によるパソコン教室

国際交流の例(グローバル・リーダーシップ育成センター)

- シンガポール英語キャンプ
- JSTS/ISTS

理科教育支援の例(科学技術教育室)

- 小学校ネットワーク理科事業
- 中学校連携理科授業
- おもしろサイエンスわくわく実験講座























熊本高専が育成する人材像

- 1) 日本語および英語のコミュニケーション能力を有する技術者
- 2) ICTに関する基本的技術および工学への応用技術を身に付けた技術者
- 3) 各分野における技術の基礎となる知識と技能およびその分野の専門技術に関する知識と能力を持ち、複眼的な視点から問題を解決する能力を持った技術者
- 4) 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性を身に付けた技術者
- 5) 広い視野と技術のあり方に対する倫理観を身に付けた技術者
- 6) 知的探求心を持ち,主体的,創造的に問題に取り組むことができる技術者

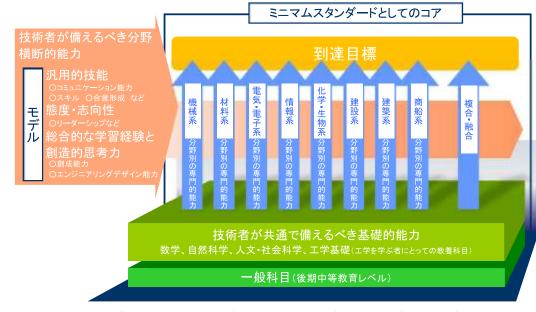




モデルコアカリキュラムと分野横断的能力

モデルコアカリキュラムでの 分野横断的能力の位置付け

- ・画一化した教育方法による 育成が困難な能力
- ・高専における教育方法や評価の手法等を高専間で広く共 有展開を図る
- PBLやインターンシップ等の 様々な手法により教育



※経済・ビジネス系については、平成29年9月に公開予定(名称は平成29年4月時点の仮称)

図1 モデルコアカリキュラムのコアとモデルのイメージ

出典:モデルコアカリキュラム 一参考資料一 平成29年4月28日

高専機構プロジェクト(H27~拠点校)

「分野横断的能力のアセスメント指標の開発と育成カリキュラムモデルの構築」

- アセスメントのための能力別評価指標(ルーブリック)の提案
- ・アセスメント実践のための教育的関与の方法等をまとめたパッケージの提案
- 分野横断的能力育成のためのカリキュラムモデルの提案



熊本高専のこれから:熊本モデルの構築

地域等との協働教育の発展

- リベラルアーツ教育×分野横断的能力育成
 - 実践力・研究力の基盤となる総合力の向上
- 人財還流型オープン・イノベーション基盤の構築

- L 協働による教育, PBL 情報セキュリティ人材育成 グローバル教育, CDIO
- ひとつのプラットフォームで在校生,卒業生,教員,地域・企業が繋がり続ける

 →□地域を牽引する人財に
- ■高度で力強い高専力(専門知識・技術×分野横断的能力)を備えた人財を輩出

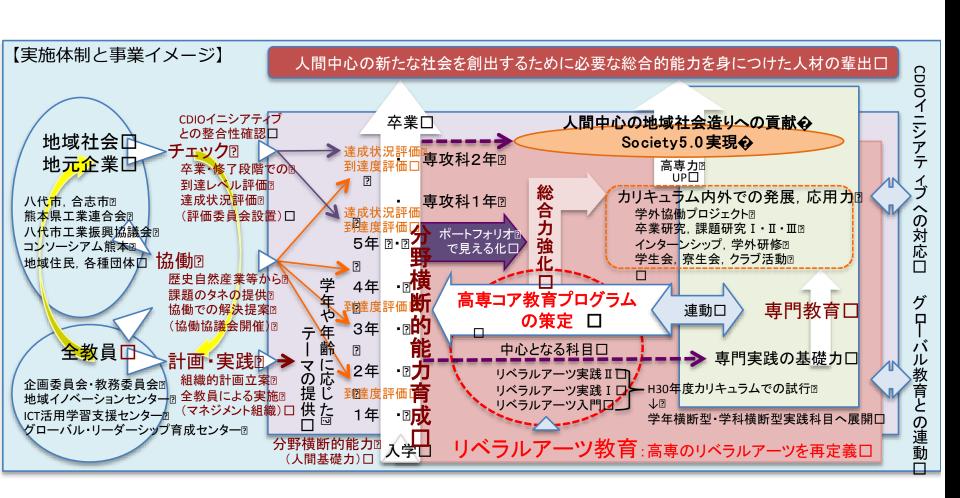
熊本モデルの教育



Society5.0人財の育成

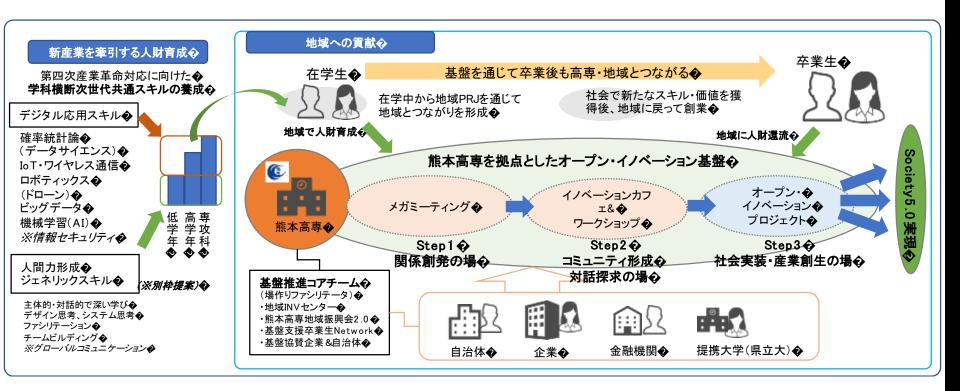


ナンバーワンへの取り組み(熊本モデル構築に向けて) 1. リベラルアーツ+分野横断的能力 →□ 総合力強化





ナンバーワンへの取り組み(熊本モデル構築に向けて) 2. オープン・イノベーション基盤の構築による人財育成





熊本高専は

熊本モデルでの教育により 人間中心の社会づくりへの貢献

を目指します